

## 令和6年4月1日 より、以下の5領域について個別支援計画を作成し 個人ごとの児童発達支援プログラムを作成しています。

支援プログラムの流れとしては、

アセスメント > 個別支援計画作成 > 実施 > 評価 > 個別支援計画修正

という「PDCAサイクル」の流れで、定期的に評価を行い支援の向上を目指します。

5領域の中からここに合わせた個別支援を作成し、スタッフ間で共有し支援を行います。

楽しいことをたくさん増やす、楽しみから学べる工夫を行っていきます。

児童発達支援・放課後等デイサービスそれぞれの年齢層及び状況に対応できる幅広い支援を行っていきます。

### 健康・生活

- 日常生活に必要な「睡眠・食事・排泄」を身に着け、健康な毎日を送る支援を行います。
- 栄養士が考えたバランスの良い給食を子どもに応じた食材の大きさや量で提供しています。みんなで一緒に食べる事で、楽しい気持ちをもって苦手な食材に挑戦し完食できる環境を整えています。
- クッキングを通して季節の食材に触れていきます。調理に関わる事で思いやりや感謝の気持ちを学ぶとともに「自分にも出来た」という達成感に繋がります。



### 運動・感覚

- 課外活動を通して四季折々の自然に触れ、五感を使った実体験を積み重ねることで想像力と豊かな心を育みます。
- 屋内外での運動活動や外部講師のダンス・サッカーなどを通して身体の使い方やバランス感覚を養い、体力向上を図ります。



### 認知・行動

- 個々に合わせた言葉やイラストなど視覚的に分かりやすい選択肢を提示し、子どもが主体的に行動できる力を育みます。
- 「考え⇔行動⇔感情」を上手にコントロールできるような目標設定を行い、「出来た」「楽しかった」と感じられるような支援を行っています。また、がんばったシールなどを用いて子どもの達成感と自信に繋がる工夫を行っています。



### 言語・コミュニケーション

- 日常の挨拶や会話の中で信頼関係を築き、子どもたちが自分の想いや考えを伝えやすい環境を作っています。児童の想いに寄り添うコミュニケーションを取ることで、安心感にも繋がっています。
- 定期的に“こども会議”を行い、子ども同士の対話を重ね、人とのコミュニケーションを楽しむ時間を作っています。



### 人間関係・社会性

集団生活に必要な「順番を守る」「他者への思いやり」をSST(ソーシャルスキルトレーニング)を通して養っていきます。

お当番制を用いて子どもに合った役割を与え、自立へのステップアップの手助けを行っています。

半年に1回あいろいろでの目標設定および振り返りを児童個人面談にて実施しています。



### 家族支援

保護者と情報共有を行い相談しやすい環境づくりをしています。

半年に1回保護者の意向確認のため面談を実施しています。